



2018年11月1日

しまねソフト研究開発センターの先駆的研究「mruby/c」 安定版 ver1.1 を進化させた「mruby/c ver1.2」を公開

島根県松江市学園南1-2-1 くにびきメッセ4F
公益財団法人しまね産業振興財団
しまねソフト研究開発センター 担当：徳田
連絡先：0852-61-2225
e-mail：itoc@s-itoc.jp

しまねソフト研究開発センター（ITOC）と国立大学法人九州工業大学が共同研究開発を行っているIoT 小型端末向け組み込みプログラミング言語「mruby/c」について、現在の安定版 ver1.1 から進化させた ver1.2 を公開しました。

今回、新たにブロック処理の実装やクラス機能の充実を図ることで、今まで以上に Ruby で記述できる内容が増えました。また、前バージョンに比べて、メモリ消費量の大幅な削減が可能となりました。

今後は、更なる開発に取り組むとともに「mruby/c」を広く県内企業に紹介し、関心を持つ企業との共同研究などを進めていくことで、県内企業の競争力強化につながる取り組みを行って参ります。

◆ mruby/c ver1.2 公開 Web サイト

<https://github.com/mruby/mruby/releases/tag/release1.2>

◆ mruby/c ver1.2

- * クラスのコンストラクタを実装
- * インスタンスに対するGC サポート
- * Array クラスの再実装による高速化とメモリ消費量の削減
- * Hash クラスの再実装による高速化とメモリ消費量の削減
- * インスタンス変数を実装
- * Math クラスを実装
- * 文字列展開を実装
- * case 文の互換性向上

◆ mruby/c とは

Ruby の特徴である開発生産性の高さを引き継ぎつつ、プログラム実行時に必要なメモリ消費量が従来の mruby（組み込み向け軽量 Ruby）より少ないソフトウェアの開発言語です。

センサーネットワークや、ウェアラブルなどの小型端末に向けたソフトウェア開発に向いています。